平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.210

2023. 4. 3

発行:平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

すすめよう!「憲法改悪を許さない全国署名」 岩手の署名は、30,358 筆 (~3月末. うち郵送 322 通・1,261 筆)

◇返信用封筒もありますので、地域配布等に活用ください。ご希望の団体は岩手県生協連まで。

戦争・平和について話す機会を増やし、次の世代に伝えることが大事

~矢巾九条の会結成 17 周年記念集会~

2月19日の矢巾九条の会結成17周年記念集会は、「青年が語る『戦争と平和・憲法9条』への思い」のテーマでトークセッションを行い、35名が参加しました。

当日は、10代から40代のトーカー6人が発言。東京大空襲センター・長崎原爆資料館を見学したことや、小学生から続けた読書がきっかけで戦争や平和について考えるようになったことなどが話されました。高校生平和大使からは、署名行動時に「世の中が変わるものか」と言われたりするが、「自分たちの姿を見て、関心を持ってくれる人が多くいる。考えるきっかけになってもらうことは大事なこと。そして戦争を二度と起こしてはいけない、それは今を生きている私たちの責任です」との発言がありました。又、私たちが声を上げて同世代の人



たちにも考えてもらうようにすることが私たちが出来ることだと思う、ということも話されました。

そのほかトーカーからは、身近な人と戦争・平和について話し、考えること、つながること、ふれあう機会を増 やすこと、次の世代に伝えることが大事だということが話されました。

参加者からは、「未来は明るいと今日の集会で思った」「あきらめずに頑張ろう」「考え方がどうこう言っても戦争(殺し合い)は良くないことだ」などの感想が出されました。軍拡が進む危険な政治情勢であるが若者たちが真剣に戦争、平和について考えていることをじかに聞くことが出来、感動をした有意義な集会でした。 (高橋秀子)

大草佐部 6105。 《らしを第一に 8 -2023年国際女性デー岩手県集会 -



日本で初めて国際女性デーが開催されてから100年を迎えた3月8日、全国各地で平和やジェンダー平等の実現を目指し、世界の女性たちと連帯するアピール行動や集会が開かれました。

2023年国際女性デー岩手県集会実行委員会は、昼時間に盛岡地裁前でスタンディング行動を実施しました。行動には45名(県医労から12名)が参加し、「日本は核兵器禁止条約に参加を」「子どもを戦場に送らない」などのプラカードや横断幕を掲げ、市民にアピールしました。

鈴木まき子実行委員長は、「戦争で殺されるのは国民。政府が推し進める軍拡を止めよう」と訴えました。岩手医労連や農民連など4団体がリレートークを行い、集会の最後に「日本政府に対する決議」を読み上げ、採択しました。

8日の夜には、国際女性デー中央大会の講演視聴会が行われ、国際 女性デーの歴史を振り返りました。 (県医労・福井百枝)



劇場版「荒野に希望の灯をともす」をすすめる岩手の会結成会・試写会開催

医師・中村哲さんの35年の現地活動の軌跡を描くドキュメンタリー映画、「劇場版 荒野に希望の灯をともす」。弁護士や女性団体、市民団体や労働組合、生協関係や9条の 会などから呼びかけ人が集まり、3月30日にすすめる岩手の会結成会が開催されました。 事務局団体は、平和憲法・9条をまもる岩手の会の幹事団体がを務めます。県内の上映運動に先駆け、盛岡上映会を行います。

◇盛岡上映会 6月18日(日)「県民会館中ホール」

①10:30 ②13:30 ③17:00 ※①と②の上映後、谷津賢二監督のトークあり。

鑑賞料金:前売券 一般・シニア 1,200円(当日 1,500円)

大学・中高生 500円 (当日同額) 小学生無料

プレイガイド: プラザおでって、いわて生協、岩手県庁生協



お知らせ憲法記念日に憲法9条を考える「5・3憲法集会inいわて」開催

5月3日(水・祝)10:30~12:00 岩手教育会館多目的ホール

≪ライブ配信あり≫ ※集会後、ピースパレード実施

https://youtube.com/live/ZSQRzeB61gM

演題:「憲法が持つ力」

講師:吉田瑞彦さん(弁護士・日弁連前副会長)

参加無料 締切:4/26



「米軍台湾派遣 4倍増と報道 対中国で訓練拡大」、戦争挑発しているのは誰だ?

ロシアによるウクライナ侵略の続く中、中国の習近平国家主席とロシアのプーチン大統領の首脳会談(3月20日~22日、モスクワ)が行われ、アメリカはじめ世界の各国から"賛否"を伴いながら注目されました。 その中でも「台湾有事」の"懸念"が進んでいます。次にまずはある報道記事を丸ごと目にしてみましょう。

「米軍台湾派遣 4倍増と報道 対中国で訓練拡大【ワシントン共同】米主要メディアは(2月)23日、 米軍が台湾軍の訓練のため台湾に派遣してきた米兵を今後数か月間で4倍以上に増やす方針だと報じた。台湾 への圧力を高め、武力統一も排除しない中国の侵攻を抑止するために訓練を拡大する。

台湾の蔡英文総統は2021年10月、米軍が台湾で台湾軍の訓練をしていることを明らかにしていた。米軍特殊部隊や海兵隊が派遣されてきた。昨年の約30人から100~200人にする計画で、台湾を自国の一部とみる中国の反発は必至だ。

ウオールストリート・ジャーナル紙電子版によると、台湾への米兵派遣はここ数十年で最大規模となる。2 2年春の時点で30人だったが、夏には26人、秋には23人と徐々に減少していた。

米国が台湾に売却した武器の使い方を教えるほか、中国からの攻撃に備えた演習を実施する。米国内でも中西部ミシガン州で州兵が台湾軍を訓練している。

台湾を巡る米中の対立は激しさを増しており、昨年8月に当時のペロシ下院議長が台湾を訪問した際には、中国がミサイルを発射したり、台湾周辺に戦闘機を飛ばしたりして強く反発した。」(アンダーラインはコラム子) 米軍による台湾軍訓練により、「台湾軍の継戦能力」はウクライナより高まっているという。安倍元首相が「台湾有事は日本の有事、日米同盟の有事」と喧伝していたことが想起されます。東シナ海上での日米合同戦闘機訓練の実施についてもこのコラムで既に指摘しておりました。

「九条を守る」運動では「戦争の準備はやめろ!」「国連中心の平和外交をやれ!」と声をあげる必要があると思います。(T)



「4月の街宣署名行動」

10日(月)12:15~12:45 盛岡市大通·野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけます。ぜひご参加ください。